

2021年4月1日

課題名：「早期前立腺がんにおける根治術後 PSA 再発における病理学のおよび分子生物学的予測因子探索」に関する研究(JCOG0401A)

◆研究の目的と概要◆

本研究は、JCOG0401（「早期前立腺癌根治術後の PSA 再発に対する放射線照射と内分泌治療に関するランダム化比較試験」）に参加していただいた患者さんの前立腺の全摘手術標本を用いて、新しい病理診断基準（ISUP2014）を用いた病理診断の再評価や免疫染色を行い、根治的前立腺摘除術後の PSA 再発に対して内分泌治療と放射線治療の併用療法により恩恵を受ける患者さんの病理学的因子をあきらかにすることが目的になります。

◆対象となる患者さん◆

JCOG0401 試験に参加していただいた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

前立腺全摘の病理標本および JCOG0401 試験で提供した既存情報

◆研究方法◆

上記病理標本を、患者さんの氏名などが分からないようにした上で、愛知医科大学病理診断科に送付します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

研究代表者 筑波大学医学医療系 腎泌尿器外科 西山 博之

研究事務局 愛知医科大学病院 病理診断科 都築 豊徳

参加医療機関：JCOG（Japan Clinical Oncology Group：日本臨床腫瘍研究グループ）
泌尿器腫瘍グループ参加医療機関および栃木県立がんセンター、慶應義塾大学病院、帝京大学病院、北里大学病院、倉敷中央病院

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

泌尿器科 研究責任者 井上 幸治

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明